

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2023.2.20

NO, 7 1

～朝の登校指導より～

子どもたちの登校を見守っていて感じたことですが、学校の坂の下の横断歩道

で日々子どもたちを見守っていただいている地域の吉岡さん、本当に子どもたちのことを考え交通指導し、子どもたちに声をかけてくれているので、子どもたちもすごく吉岡さんに親しみを感じていることが伝わってきます。吉岡さんがおられなかった日、私が横断歩道で交通指導をしていたのですが、何人もの子どもたちが「あれ？なんで校長先生？？おっちゃんは？？？」と話しかけてきました。子どもたちにとってはあの横断歩道に吉岡さんがいる風景が日常となっているのでしょう。なので、吉岡さんがいない風景は非日常であり、「あれ？」と感じるのでしょう。吉岡さんは、登校する子どもたちのことをよく見てくれており、声掛けもたくさんしてくれています。だから、地域の方に大切にされているという実感を子どもたちは持つことができているのでしょう。

また、坂下の信号で子どもたちの登校を見守ってくれている倉田さんにも、子どもたちは親しみを込めて「信号のお婆ちゃん」とか「黄色いお婆ちゃん」と呼んでいるそうです。倉田さんは「横断歩道を渡らない子がいるのは危ないわ。車もたくさん走っているの」とおっしゃっていました。気を付けなければなりませんね。信号のところは、車だけではなく自転車も多く通過するので、本当に気をつけてもらいたいところです。

学校から少し離れるのですが、グリーン団地の南西下、お地蔵さんの西側で毎日子どもたちを見守ってくれているのが宮本さんです。宮本さんの見守ってくれている場所に、いつも集合している子どもたちがいます。そして、そこからみんなで登校しているようです。それぞれ小さな地域のコミュニティスポットになっているように感じます。本当にみなさん、ありがとうございます。今後とも、子どもたちのためによりしくお願いします。

学校からのお願い

今回、文字ばかりの手紙になってしまいましたが、最後に学校からお願いをしたいと思います。子どもたちの登下校時、時間が許すならできるだけ範囲で結構ですので、お家から出て子どもたちの様子を見ていただければありがたいです。子どもたちはまだまだ判断力も不十分ですので、必要があればその場で注意していただきたいと思います。学校、家庭、地域で子どもたちの安心安全を守れればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

今回、文字ばかりの手紙になってしまいましたが、最後に学校からお願いをしたいと思います。